

令和2年度  
**印西市民アカデミーだより**  
 第24号

**印西の歴史散策 8**

2月19日(金)に予定されていた中根・龍腹寺地区の歴史散策は、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言の延長を受けて、前回に続き中止させていただきました。そのため、担当一人で散策してきた様子を下記にまとめました。散策コースは、本埜スポーツプラザ→福寿院・観音堂→中根鳥見神社→龍腹寺地蔵堂→八幡神社→東漸寺・不動堂→本埜スポーツプラザ(約4.5km・2時間)です。谷津田の風景も楽しめる見所満載のコースです。



地蔵堂山門



山門の仁王像



地蔵堂



由緒ある梵鐘

玄林山勝光院龍腹寺は、平安時代の大同2年(807)の創建といわれ、龍伝説が古くから語り継がれています。現在、本堂には入ることができませんが、山門の仁王像や地蔵堂境内にある梵鐘、毛堂などに中世の龍腹寺に寄せられた信仰の広がりを感じます。



観音堂



金売り吉次兄弟の墓?



オビシヤで使われた的

福寿院の斜め向かいにある観音堂の裏手には、市内でも最古級の嘉元4年(1306)11月日銘の武蔵型板碑をはじめ、鎌倉時代後期に遡る下総型板碑が3点残っています。

中根鳥見神社では、10月17日に社殿前の神楽殿で県重要無形民俗文化財に指定されている大和神楽が奉納されています。室町時代(安年間)から始まったと言われています。



八幡神社の境内



八幡神社は、辺田前の小高い丘の上であり、急な階段を上り切ったところにあります。眺めが素晴らしい!



市無形民俗文化財指定の八幡神社の獅子舞は、毎年4月の第3日曜に東漸寺の境内で行われます。



小山にある不動堂